

<第1回 たきざわ自分ごと化会議 議事録>

1 開催日時

令和6年12月15日（日）午前9時30分～午後0時30分

2 場所

滝沢市役所 大会議室

3 出席者

（1）メンバー

14人（別紙名簿のとおり）

（2）講師

（一社）構想日本 柏崎亮太氏

（3）事務局

たきざわ魅力発信室 室長	杉村英久
総括主査	木下智恵子
主査	阿部大我
主任	森内涼平

4 来庁した報道機関

岩手日報社

5 流れ

- （1）開会 : たきざわ魅力発信室 室長 杉村英久
- （2）市長あいさつ : 滝沢市長 武田哲
- （3）自分ごと化会議の説明 : 一般社団法人構想日本 柏崎亮太氏
- （4）テーマ及び全4回の流れの説明、市の情報発信の現状と課題について
: たきざわ魅力発信室 主任 森内涼平

——— 休憩 ———

（5）全体ワーク

①メンバー自己紹介

割愛

②市の好きなところ、もっとこうなったらいいなと思うこと

（別紙のとおり）

（6）感想共有

市の説明を聞いた感想（別紙のとおり）

6 事務連絡

アンケートへのご協力をお願い、ワークシート2種の説明。ワークシートについては現時点での考えを整理するためのもの。宿題ではなく、第2回に再度配布する。

7 閉会

第1回 滝沢自分ごと化会議 全体ワーク共有シート

市の好きなところ

- ・好きなところはあんまりないなと感じているが、（市が用意したペットボトル水を飲んで）水がおいしいというのは普通ではないんだなと感じた。
- ・アクセスが良く駅に行くにも近いということと、自然が綺麗ということ。
- ・お水が美味しいところ。東京の人が来て飲んでも美味しく、持って帰りたいなんていう話も聞いた。それから、岩手山が結構綺麗なおとこ。八幡平から見るのとはちょっと違う。
- ・自分が育ったのは、隣の青山町だが、滝沢に来て、やっぱり自然がいいなと感じる。今住んでいるところから見る岩手山もきれい。場所を選んだのは父親だが、景色がいいからという理由だった。
- ・夜に星がとても綺麗に見えるところ。裏を返せば街灯がないということにはなるが、すごくいいなと思う。
- ・ベタベタな人間関係というか、近所の人何かしたら、もう次の日には耳に入っているみたいな関係も好きなので、そういう部分は狭いコミュニティだからこそその良い点だなと思う。
- ・過去に仙台にいたので、地方税が安く感じる。
- ・岩手山と、自然が多くて空気が美味しいところが好き。
- ・終の住まいとして、ここで一生を終えたいと思っている。
- ・岩手山が綺麗に見えることで、朝、岩手山を見てから学校に行くときに、頑張ろうと思える。
- ・ちょうどいい田舎ってというのが最大の魅力だと思う。ちょっとアクセスが悪いけれど、自然もあるし、遊びに行こうと思えば盛岡市にすぐ行けるとか、スマートインターとか、高速にもすぐ乗れるということもあって、交通の便もいい方なんじゃないかなとは思う。
- ・近くに住む方からお米をいただくと、滝沢のお米は本当に美味しい。どこかに行ってお米を食べると、家で炊いたお米だったら家で炊いたお米の方が美味しいと思うくらい、地元のお米とか滝沢のお米が美味しいと感じる。たまにクイックスイートの干し芋ももらって食べるが、それも本当美味しい。
- ・県庁所在地と、新幹線の乗り入れの駅に近いということ、あとは高速に近いということ。
- ・住民に関しては適度な距離感を保ちながら親近感があるということ。
- ・滝沢市は市民に優しい、あと福祉が充実している、高齢者、子供たちに優しい市だと思う。盛岡市と比較してみて、遥かに滝沢市の方が、市民に対して優しい市だと思う。
- ・新鮮な野菜果物が豊富なので住みやすい、それでいて安い。

市がもっとこうなったらいいなと思うところ

- ・滝沢は小さくて狭いが、意外と鶉飼地区、篠木地区、姥屋敷地区などと分かれていて、あまり一体感がないなと感じる。何か道路などで近くなればいいなと思った。同じ市内なのになぜ盛岡に行くより遠いんだろうかと思っているので、何かもう少し一体感を持ってできるものがあればなと思った。
- ・買い物をするところや、お金を落とすところが多いと感じる。他の地域でお金を使うことが多いので、もっと何か商業施設なのか、遊ぶところなのか分からないが、そういうポイントがあればいいかなと思う。
- ・先ほどもあったが、ちょっと一体感が欲しい。興味関心がないわけではないと思うが、地区が違えばもう関係がない、という感じがする。
- ・交通の便が非常に悪い。どうすれば地域間のアクセスが良くなるのか考えたい。
- ・小岩井農場も滝沢なのに、盛岡のものみたいに扱われている。滝沢も自然が豊かで小岩井農場や県立大学があったり、いろんな施設があったりするのに、あまり発信として聞かないので、盛岡に負けず滝沢として何か持っているものを最大限に使ってほしいなと思う。
- ・バスの本数が少ないのと、すごく高くて、盛岡駅まで行くのに500円以上かかる。
- ・せっかく良い自然とか特産物もいっぱいあるので、もっと滝沢ブランディングじゃないけれど、かっこいい感じの市になってほしいなと思う。
- ・そんなに多くは望んでいないので、現状に満足している。
- ・いろんな人に情報が届くように、いろんなツールがあった方がいいなというふうに思う。
- ・自分の住んでいる大釜は、仕事で一度離れて戻ってきたら、すっかり宅地になってて、家もいっぱい建って都会的になった。一方で、篠木や大沢の方に行くと、そこは全然変わってない。その地域間の違いに、市の考えや、開発の仕方あると思うが、そこら辺のギャップについてすごく疑問に思う。もっと差がなくなっていけばいいのにと感じる。
- ・大学が二つあって、若者は多いが、高校生や大学生が滝沢市で遊ぶことが少ない。アクセスが良い分、盛岡市に行って遊んでる人が多いイメージ。
- ・自分はスポーツをしていて学生時代に怪我が多かったので、いろんな治療費などがかかったが、滝沢市よりも盛岡市の方が助成などが手厚いイメージがある。そういうところも改善していければなと感じる。
- ・田舎ゆえに商業施設がないとか、何か人にすすめる観光スポットもなかなか思い浮かばない。そういった場所は滝沢じゃなくて盛岡市に頼っている部分もあるのかなと思うが、近く（盛岡）にはあるけど、っていうところで何か、売りがあったらいいなという気がする。
- ・よく登山をするが、岩手山に登ってもらうお客さんが楽に登れるような、網張の方の途中まである道路を活用して、もう少し上まで道路で行けたら、楽に自然を楽しめるのではと思う。富士山も8合目あたりまでは道路通っていて、そういうイメージで岩手山を楽に、県外の人に来て見てもらえればいいと思う。
- ・自然を売りにして、特産品もスイカが有名かと思うが、スイカだけだと思う。クイックスイート（サツマイモ）も有名で焼酎とかもそれで作っていると思うが、山形のさくらんぼ、ラ・フランスだったり、青森のリンゴだったり、滝沢市でももっと「滝沢市はこれ」というものが欲しい。スイカは山形も有名で、滝沢が一番ではない。何かそういう目玉なものを特産品として作れば、良いと思う。
- ・人口もどんどん減ってきて、住んでいる地区でも、年配の方しか住んでいない。土地もあるのにどうしてこっちの方に住まないのか、駅前近辺はいっぱい住んでるが、ちょっと上がったところになると、そこには若い人たちは出て行ってしまい、いない。結局魅力がないから戻ってこないんだろうなと個人的には思っている。田舎に住んでいて魅力的なものがあるような地域になっていければいいと思う。
- ・地域のおいしいものについて、もっと発信できるようにした方がいいと思う。今日のペットボトル水も、みんなから公募して水の名前を決めてもらうとか、例えば、よくある「龍泉洞の水」のように命名し、公募して50周年の記念にそういうブランドを作ってこの水を大々的に売るとか、そういう考え方もあってもいいと思う。滝沢の水ってこういうふうな岩手山の恵みの水だとか、そういう発信をもっとしていけば、これはこれで売れるのではと思う。
- ・篠木から東部体育館まで行くのに、高速を使う。鶉飼小学校の前などは、夕方や朝にすごく渋滞になったりする。そういうのを考えると、いろんな道路があった方がいいのかなと感じる。
- ・市の発信の手段はたくさんあるが、もう少し発信の仕方を変えていければいいかなと感じた。

市の説明を聞いた感想

・かなり広報媒体をたくさん持ってるなっていうのは、初めて知った。滝沢の情報を得るのに、広報をよく見ている、「話題のひろば」のページの上に、さっき見たらXとか、InstagramとかYouTubeのQRコードが載っていて、いつも自分が見てるページの上にあったんだなと思って、ちゃんと見えてないのかなと、もしくは後ろのページの方にQRコードを移して気づけるような場所にあった方がいいんじゃないかなと感じた。職場の広報でもそういうのを活用していて、そういう工夫もあったらいいのかなと広報を見て感じた。職場でも、国からどんどんDX化を図れと言われていて、広報についてもSNSなどを活用したいっていう方向で動いているんですが、一方でやっぱり高齢者とかスマートフォンを使いこなせてない世代を置き去りにしないということも大事だと思っている。そんな中でやはり、紙媒体による広報とか、直接物を持って説明することの大事さというのは、何か感じている。紙とか直接対話とかそういったことも忘れてはいけないのかなと思う。

・ホームページについては、リニューアルしたということだが、家の近くで熊が出没したこともあり、そういう情報の発信とかは助かった。

・やっぱり媒体を増やすと、「人」もかかるし「心のプレッシャー」もあると思うので、確かに絞り込みが必要なのかなという感じた。

・いろんな情報をいろいろな形で出してくれてるんだなと分かったが、やはり個人的には知りたい情報しか見に行っていないので、それこそコロナでホームページを見たぐらいで、あとは税金だったか、知りたい情報があって、リニューアル前のホームページ見たことがあるくらい。探しに行くのがちょっと難しかったなという感じはした。個人的には、SNSは登録が必要になるのが少し嫌だなと感じる。いろいろ投稿はできるんだと思うが、私の中ではちょっとハードルが高くて、見たい情報が簡単に見れるような環境は人それぞれ違うと思うので、もっとわかりやすくなればいいなと思っている。

・媒体としていろいろやっていて、SNSの活用や市長さんのYouTubeとか、他の自治体よりもいろいろ力を入れてるんだなと感じた。私は市のホームページを見たのがコロナのワクチン接種のときだけで、あまり情報が不足してるとは思わないし、取りに行きたいなというの、あまり生活の中ではないのかなと感じている。

・ちゃぐぼんのアプリ（滝沢NAVI）について、防災無線の内容が文字で見れるのは便利だと母親が言っていた。

・自分たちで広報を編集しているということに驚いた。盛岡市の広報に少し携わったことがあるのですごい大変だろうなと思う。

・こんなにやってるんだなと思った。広報でよく見るのは休日当番医のところ。実際、興味がないページは見していない。

・（リニューアルされた）市のホームページを見たときにちょっと見やすかったと思うので、ここからアクセスが上がっていけばいいのかなと思った。

・母親が、「クマが出たときの情報は助かる」と言っていた。（滝沢NAVI）

・情報発信に関してはすごい量やってるんだなとわかった。ただ、もう少し絞って、やっていく方法もあるんじゃないかと思う。情報量が多くなると、お金もかかるし、税金の支出もある程度抑えながらやらなければいけないと思う。

・私も絞ってやった方がいいんじゃないかなと思った。暇なときに広報などを見たりするが、市がSNSをやっているの知らなくて、今さっき市のXやインスタを初めて見た。それぞれ投稿の内容が違って、年代層とかを考えて使い分けしているのは良いことだと思った。

・今までなんで知らなかったか考えると、実際そこまで市のやってることに興味がないというか、情報を受け取っても受け取ってなくても自分の年代層（20代）にはあまり関係がない。小さい子がいる家庭くらいになると、イベントなど必要な情報が出てくるかもしれないが、20代前半には、参加できるようなイベントや興味があるイベントがあまりなくて、市の媒体を見なくても、どうにかなる。なんかそういうのやるんだなっていう程度で終わってしまって、アカウントを知っていても、フォローはしないかなと少し感じる。何か大きい情報はニュースだったりとか、広報で回ってくるので別にいいかなとも思う。

・みんなも見やすくなったと言っているし、かけるべき経費だとは思いますが、ホームページのリニューアルにすごくお金がかかっていることに驚いた。アンケートで、ここ1年で滝沢市のホームページを見たことがありますかという質問で、令和2年から令和3年の「はい」の人が10ポイント上がっているのは、コロナワクチンの影響であって、多分もう上がることはないからどんどん下がる一方なのかなと思った。

市の説明を聞いた感想

- ・本当にいろんなことを手広くやっているんだなと驚いた。
- ・いろいろやっているんだなと思ったが、でもやっぱり自分が興味あることしか見ていない。
- ・武田市長がスイカの被り物をして話題になったことがあると思う。個人的にはすごい良かったと思う。賛否はあったらしいが、滝沢市が話題になってくれるのは、個人的にはありがたいかなと思った。
- ・若い方、本当慣れた方はSNSでも何でもフォローして見れるけれど、停電になれば伝わらないものがたくさんあるので、やはり紙で残ってるものは大事だなと思う。
- ・私はSNSはやったことがないが、その範囲に入らないとわからない情報もあるんだなと分かった。結構年配の方でもスマホを使ってる方もいるが、そうでない方、いわゆる情報難民にも何かサポートというか、何かできる機会を作ってもらえると、興味のある人は参加するんじゃないかなと思う。以前、出前講座でSNSに関するものが2件ほど載ってたことがあったが、募集人数が少なかったり、開催が少なかったり、申し込めなかった。そういうものがあると知らない、1人で住んでる年配の方も結構増えているので、何かあったときにこういうものがあるんだよっていうのを教えてあげるとか、それについてのフォローを地区の方でやっている話はとても興味深かった。こういうものを代わりに使えるっていうのを教えてくれるところがあると、今まで手を出さなかった年配の方とかも手を出すようになるかもしれないと思った。
- ・市ではすごく細部まで対応しているのだと分かった。実を言うと私も広報と回覧板ぐらいしか見たことがなくて、他のは全然やったことがない。でも今回、携帯で入れる分には入ってみたいと思った。やはりこういった事をやってるということをもっと周知というか、広く教えてあげないとわからないところもあるので、今後力を入れなければならないのかなと思った。
- ・やっているということ自体の周知も大事だと思った。今回様々なSNSが活用されていることを初めて知ったので、活用していきたいなと思っている。自分もよく使うが、インスタグラムとかYouTubeとか、若者が多く使うので、そのような媒体で発信し続けることは市の情報発信に繋がっていくのかなと思った。一方で、SNSを使った情報発信をしてるという情報を知ってる人が少ないのが問題だと思っていて、このような場で、私は知ることができたので、例えば、若者向けのこういった自分ごと化会議みたいな場を開催することもいいのかなと思った。
- ・市役所の公務員の方たちの表現っていうのはわからない人にはわからない言葉なので、誰が見てもわかるような言葉を使うとか、そういう工夫をしていったら、ホームページのアクセス数も増えたりとか、検索しやすくなれば見てくれる人も増えるんじゃないかなと思う。
- ・広報一冊に45円かかっていると知って、ちゃんと見てるかって言われたら、毎月は見えないような気がする。そのままゴミにいっちゃったりとか、なんかもったいないなと思う。値段聞いて、もったいないことしてるなと感じたが、紙媒体はやっぱりあったほうがいいんだろうなとも思う。1冊45円かかっているのであれば、もっと真面目に見たいなと思った。
- ・広報はやっぱりあった方がいいと思っていて毎月2回、できるだけ目を通すようにしている。新しくなったホームページで私だけなのかもしれないが、こういうふうなところに行きたいっていうときに、検索のところを充実させてもらって、例えば今介護をしてるんですけど、介護のために何か必要なことはどこに行けば何ができるのかとか、そういう検索、老人の介護だとか、何か一言でそのためには何が必要かっていうのが検索でぱっと出てくるような仕組みができれば、わかりやすいと感じる。先日ホームページを見たが、教育委員会のページで見たいページにたどり着くのが大変だった。ちょっとしたキーワードで自分の知りたい情報が分かればすごくいいなって思う。いろいろ分かれていて見やすくなったなとは思いますが、目的のページまでたどり着くのに大変だった。
- ・やっぱり現状の滝沢では市の広報が一番強いと思う。やはり市の広報を充実させるというかも少し枠を大きくするという形で市民にわかりやすく情報を発信することで、市民にも理解してもらえるんじゃないかなと思う。やり方として、いろんな媒体、ホームページやLINEとかをやるより、遥かにいいと思う。発行費はすごく高いですが現状ではそれしかないんじゃないかなと感じる。
- ・各課でいろんな団体を担当していると思うが、各課で団体の事務局に発信すると、事務局がその団体の会員宛に連絡をする。広報とかで市民に全部出すっていう発信のやり方もあるし、様々な団体にお願いして、「会員の皆さんに周知徹底してください」というやり方もあると思う。そうするとより発信の機会や情報量が増えるのではないかなと思う。